

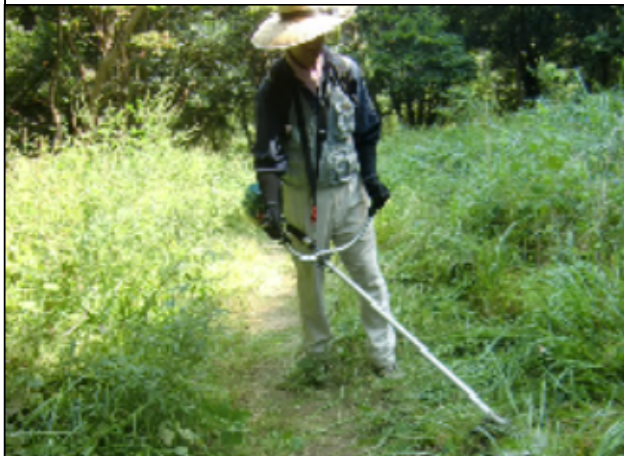
広町の森は、現在、これまで広町の森の保全に関わってきた4つの市民団体と、鎌倉市が公募した市民をメンバーとする5つの会（広町田んぼの会・広町畑の会・広町自然観察の会・広町森の会・広町散策路の会）が都市林公園としての整備に向けた保全活動を行っています。5つの会には鎌倉の自然を守る連合会を構成する近隣の自治・町内会の会員の方も参加しており、これはその参加者のレポートです。

広町田んぼの会 9月25日、「広町田んぼの会」主催で、田んぼの稲刈りが行われ、近くの親子連れが約70人集まり、鎌を手に実った早稲種のキヌヒカリを例年より早く収穫しました。籾で200kgの収穫になるといいます。子供達は稲刈りというより、この泥んこのなかで転げまわって遊ぶことに喜々とした声を響かせていました。今年は猛暑で田んぼの水の管理が大変で、毎日水当番が交代で田んぼの見回りにご苦労されました。そのおかげでやっと実ったことを皆様にも知ってほしいし、感謝したいものです。11月20日には収穫祭が待っています。



広町畑の会 とにかく、雑草取り追われた今年の夏でした。今年の夏でした。熱中症をおそれてか集まりも悪く、少ない人数での作業はきついものがありました。しかし、8月21日、藍の染物教室を広町の広場で開き藍を刈り取って葉をちぎることから始まり、絞りをに入れて染め上げました。目下、ゴマとそばを干し、ひょうたんの種抜きに追われています。

広町森の会 今夏は異常な暑さとなり、7月からの植樹場所苗木周辺の草もいつもより大きく伸びて、刈り取りにも汗だくでありました。苗木も2.5m以上に伸びたケヤキ、コナラ、エノキが10本になり、今後も大きく生育するのを見守っていきます。また、御所谷の枝谷戸では3回目になるスギ（古損木）の間伐を行い、混交林を目指して活動を継続して行きます。



広町散策路の会 9月に入っても、真夏の猛暑から脱出できない日が続き、35度を越える異常気象が記録を更新させました。草は繁茂し、散策路に覆いかぶさり、どこが道なのかかわからず足を踏み外すこともありました。これを一掃するため全員で草刈。道の両側の長い草をチェーンソーで刈り、刈った草を熊手で掻き集めました。チェーンソーの騒音が暑さを倍増させ汗が滴り落ちました。

広町自然観察の会

9月は例年行っている御所谷のハンゲショウの手入れをしました。3年の手入れで昔の植生が戻りつつあります。手入れは草刈りと両側水路の手入れで競争相手の植物を減らしています。



今年の開花状況



手入れ後の様子

広町の初秋の草花

ゲンノショウコ：フウロウソウ科

多年草。北海道の草地、本州から九州の山野に自生する。生薬のひとつで、根・茎・葉・花を干したものを煎じて胃薬とする。植物名は「実際（現）に効く証拠」を意味する。



センニンソウ：キンポウゲ科

日本各地の日当たりのよい山野によく見られるツル植物。8～9月に白い可憐な花をたくさんつける。果実に白い長い毛があり、これを仙人に見立ててこの名がついた。

●広町の森の収穫祭●

開催日：11月20日（土）9時～12時
※雨天21日（日）

